

2020龍神合宿 (in 大正中学校)

今年度は、感染症拡大を防止するため、いろいろなことが例年とは違っていています。龍神合宿も例に漏れず、和歌山の山の家に行くことは、断念せざるをえませんでした。ですが、3年生にとっては最後の龍神合宿。なんとか別の形で実施できないか模索し、学校で行うことにしました。学校で行うといっても、感染症拡大防止の観点から、宿泊やその他さまざまなことを断念せざるを得ませんでした。ですが、できないことばかりを考えるよりも、学校で行うからこそできることを考え、実施しました。



12月19日(土) 8:30に集合したメンバーに、3年生部落研部長の吉田さんから今年のスローガン「聴く～自分と向き合い 見つめ直し その先へ～」が伝えられました。毎年3年生はその年の龍神合宿をどのようなものにしたいかなどいろいろなことを考えて準備するのですが、今年の3年生も当日までに集まり、さまざまなことを考え抜いて準備してきました。しっかりと背筋を伸ばして聴くメンバーの姿が見られ、いよいよ龍神合宿スタートです！



龍神合宿は3年生が考えた班ごとに、合宿中のすべてのことを取り組みます。全体オリエンテーリングの後、まずは班ごとにわかれ、自己紹介と班ごとの目標を決めました。この時には顔を合わせたばかりで、まだしっくりきておらず、少しぎこちなさを感じています。その後、今回の龍神合宿の班別ミーティングで何を語るのかを考えていきました。龍神合宿では一人一人が自分の抱えていることや、思いや考えを語りきることを大切にしています。短縮版とはいえ、メインは班別ミーティングです。お昼までの時間で、それぞれが自分のことについて考えていきました。

お昼ご飯は班ごとにバーベキューを行いました。美味しいお肉で和気藹々と過ごすうちに、少しずつ打ち解けていっている様子でした。

ここで、卒業生の井上さんと山村さんが飛び入り参加してくれました。龍神合宿にはよく卒業生が参加してくれるのですが、いつもいろんな場面で声をかけ、参加している後輩の背中を押してくれる姿が見られます。今年参加してくれた2人も、2人にしかできない、2人だからできるタッチで、後輩たちに関わり背中を押してくれました。



また、今回も中友のスタッフのみなさんが、応援に駆けつけてくださいました。龍神合宿直前の中友では、当日に向けてどんな気持ちでいるのか、どんなふうに頑張ろうと思っているのかを聴いてくださっていました。そして、いつも中友に参加しているメンバーや、他の子達もどんな風に頑張っているのかを見にきてくださり、声をかけ応援しに来てくださいました。参加している子達は、いろんな人に見守られ支えられていると感じ取っていたと思います。



お昼ご飯を終えて次に行ったのが、3年生の語りです。3年生のメンバーが全員の前で、語ります。「龍神合宿で語るというのは、こういうことなんやで」と、後輩に伝えるためです。また、聴いたあとの「返し」も大切にしています。「先輩の話を聴いて、こう思った」ということを、自分なりの言葉で伝えます。いつもここで、初めて参加するメンバーの背中を押す先輩の姿が見られるのですが、今年も2・3年生のメンバーが一生懸命声をかけている姿が見られました。たった一言でも返した後輩の姿に喜び、満面の笑顔を見せる姿がそこかしこで見られました。

龍神合宿では、聴き取りを行います。卒業生や地域の人、大正中で働いていた先生など、様々な人が語りに来てくださいます。今回は大正中で実施するからこそ来てもらえる地域の人たちに、当時のムラの様子や部落研メンバーへのメッセージを聴かせてもらうことにしました。午前中に吉川清道さん、午後に西口チエ子さんと井川得順さんの3の方が来て語ってくださいました。熱のこもった語りに、真剣に聴き入る姿が見られました。「頑張ってや!」「負けたらあかんで!」「しっかり勉強しやなあかんで!」というメッセージを受け取ったのではないのでしょうか。



そして、班別ミーティングを行いました。班ごとに別れて、自分のことを語りきり、返しをしました。「最初班ごとに別れた時、まったく喋らんかったあの子が、めっちゃちゃんと語って、いっぱい色んなこと考えてることがわかった。うちの班別ミーティングめっちゃ良かったで。」と後輩の頑張りを嬉しそうに話す子や、今まで言えなかったことを語りきれたという子、やりきった顔が参加者全員から見られました。

最後に、1日を終えての感想を全体の場で一人一人が全員に向けて発表しました。締めくくりとして、座禅も行いました。

今回は、普段過ごしている学校での開催で、いつでも家に帰れる距離ということもあり、初めは例年の龍神合宿のようにはいきませんでした。最終的には全員やり切ることができたと思います。そこには、なんとか成功させたいという3年生の頑張りや、昨年自分がしてもらったように後輩に関わろうとする2年生の頑張り、普段とは違う先輩達の様子を感じ取り一生懸命ついていこうとする1年生の頑張りがあったと思います。山の家には行くことができなかったけれども、どこであってどんな状況であってもやりきったのは、先輩から後輩に毎年引き継がれていっている熱と光があるからではないのでしょうか。やっぱり山の家に行きたかったなど、残念な思いはあるとは思いますが、それでも目の前にある状況の中で精一杯やりきったみんな、本当にお疲れ様でした!

(文責：松浦)

【フォトギャラリー】

今年度大正中学校には、ドキュメンタリー番組を制作されている二宮さんと、プロカメラマンの満若さんが、取材に来られています。その縁もあってお二人も今回の龍神合宿にも参加してください、満若さんがみんなの参加している様子を写真に撮っていただきました。

さすがプロ！みんなの真剣な眼差しや息づかいが、伝わってきそうな写真ばかりです。せっかくなので、まとめて載せます。ぜひ当日の様子を、雰囲気だけでも感じ取っていただければと思います。

どうぞ、ご覧ください↓













